

ヘルパンギーナ

幼児に多い病気で、ウイルスの感染によっておこる口内炎の一種です。熱い時期に多発するため、“夏かぜ”ともいわれます。(冬に発症する事もあります。)

症状

高熱(4~5日間)・食欲不振(10日間位)・不機嫌・よだれ・はぐきからの出血。

治療

合併症予防のために、抗生剤を使う事もありますが、“ウイルス感染”のために、ヘルパンギーナそのものには効果がありません。

口の中の痛みのために、食欲がなくなります。脱水しないように水分を十分にのませてあげてください。

脱水の危険があると、点滴によって栄養剤を補給しなければなりません。

赤ちゃんの場合は、入院が必要となる事もあります。

ヘルパンギーナは、赤ちゃん・幼児におこり、高熱、不機嫌、そして食欲がなくなり、口の中から出血する事があるので、御両親がとても心配する病気です。しかし、治療する医師は、特殊なケースをのぞいては、時期がくれば治る事がわかっているので、あまり心配いたしません。

ヘルパンギーナは治る迄、約二週間はかかるという事を、御両親は最初からご理解ください。

水分の補給にお気をつけください。

矢野耳鼻咽喉科	藤沢市善行 1-25-11	8 1	3 5 4 1
医学博士	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	潮
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	ゆかり
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	さゆり